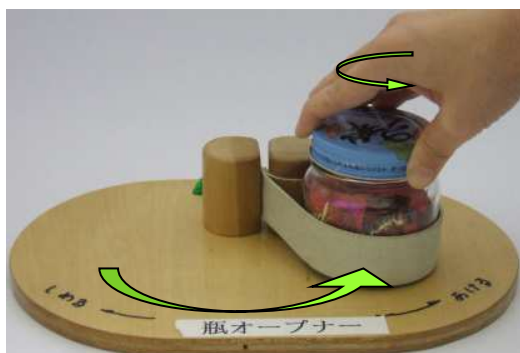


片手でつかえるビンオープナー



1. ベルトの輪の中に瓶をはめ、「あける」方向にひねります。



2. ひねる力とベルトの摩擦でビンが締め付けられて固定されるので、さらにふたを強くひねると、ふたのねじが緩みます。



3. 更に軽くふたをひねって、ふたを取り外します。



4. しめる時はふたを乗せて「しめる」方向に軽くひねり、最後にベルトの摩擦を利用して、強くもう一ひねり、ひねります。

動画で紹介 ⇒



<https://youtu.be/NPq1w-fZRos>

片手用瓶オープナー・くぼみ



木製のブロックの中央にすり鉢状の窪みがあり、滑り止めのゴムシートを貼り付けてあります。裏面にも四隅に滑り止めゴムシートがついています。

○すり鉢状の窪みに瓶を押し付けながらふたをねじ回します。

○鉢状なので、瓶の大きさが違って、しっかりと固定されます。

動画で紹介 ⇒



https://youtu.be/_xjeqOCFt-U

ラップちゃん(片手用ラップ器)

片麻痺の方・片手が不自由な方に



1. ラップちゃんとラップ引き出し棒を準備し、ラップちゃんの前に食器を置きます。

2. ふたを開けてラップを引き出し、ラップがぴんと張る様に容器を覆い、



4. 塩ビ板の上からラップを軽く押さえて密着させ、ふたを閉めて軽く押し、切り刃を押し下げ、ラップを切断します。



5. 蓋を開け、食器を持ち上げて塩ビ板からラップをはがし、蓋をおろします。



動画で紹介 ⇒ <https://youtu.be/OnBM33RO0os>



注ぎ台

持ち上げる力が弱い人でも、震えないで、安心して注ぐ事ができます。



1. 注ぎ台の前方に湯飲みを置き、急須を台の上に置きます。



2. 急須を前に進め、先端を注ぎ台の窪みの縁に当て、注ぎ台の縁を支点にして、急須を回転させるように、傾けます。



3. うまくお湯が受け止められるように、お湯の落下地点と湯飲みの置き場所を調節しましょう。

急須は

傾けてもふたがずり落ちないもの、
平底で、台の縁にかかりやすいもの、
がよいでしょう。

角度が付いた柄の包丁

リウマチ等で、握る力が弱かったり、関節が変形している人に、使いやすいように加工します。



牛乳パックオープナーと固定台

リウマチの方、指先で広げられない方に



1. 「あけぐち」を手前にして、パックをのせる。
2. オープナーの先端の切れ目をパックの折り目の奥まですべり込ませ、
3. 「のりづけ」部分を右に押しひろげ、反対側も同様に押しひろげる。
4. オープナーの「ピン」をのりづけされている「注ぎぐち」の中央部分にさしこみ、
5. 手前にひきだすようにして、のり付け部分をはがしながら「注ぎぐち」を起こします。



動画で紹介 ⇒

<https://youtu.be/sgLxdZLnVlc>



手に優しい洗濯バサミ

握る力が弱い方に

てこの原理で、弱い力で開きます



手提げ鍋

キャリーハンドルに腕を通して持ち運べます。



片手用コップ洗い

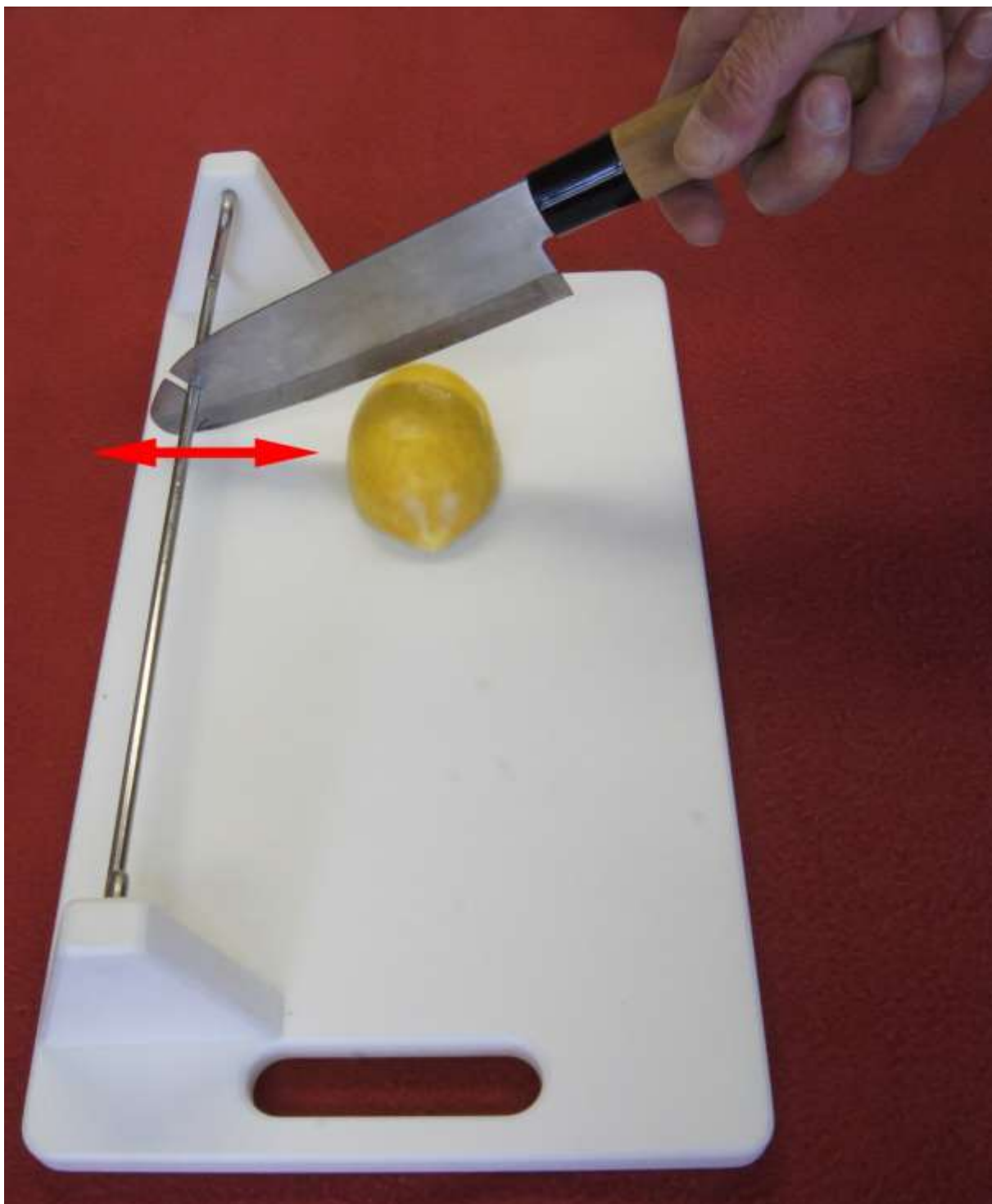
吸盤で流し台に張り付けて使います。
コップの内側と外側が同時に洗えます。



包丁付きまな板

不随意運動があっても、包丁は震えません。

包丁を固定しているバーは前後にふれるので、包丁をスライスさせることができます。



グリップ/ホルダー付き スプーン・フォーク

握る事ができなくても手に持つことができます。



コップホルダー

握る力がなくても、手のひらにひっかけて持つことができます。マジックテープで、コップを固定します。



ストローホルダー

ストローが固定され、口に運びやすくなります。



トーストパレット

片手でトーストにバターを塗るための自助具です。



パレットにパンをおけば、枠でパンが固定され、バターナイフを押しつけてもパンが移動しません。

パレットの枠は、適当な間隔で取り付けられていて、たて、よこ、ななめに、ナイフを入れてもじゃまになりません。

ロータリー式茶碗ホルダー

片手でお茶漬けを流し込むことができます



3種類のお椀を交互に口元まで引き寄せて、流し込むように食べることができます。

皿ガード

スプーンで追いかけると逃げる食材に
トウセンボします。



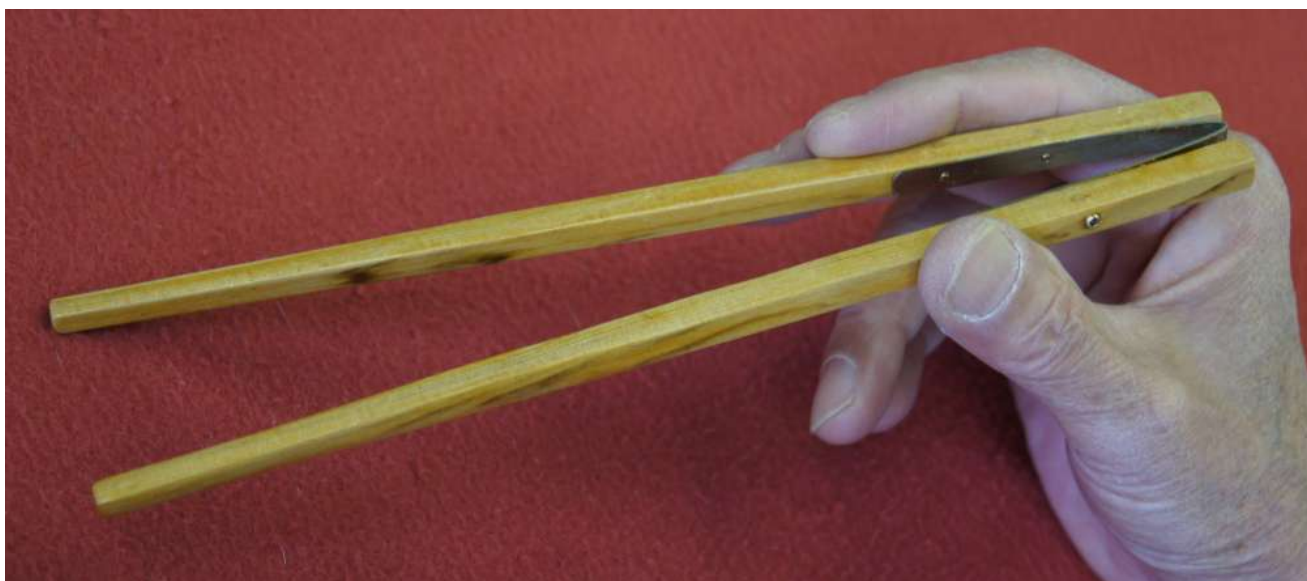
紙パックホルダー

力の加減ができなくて紙パックを握りつぶす人に、プラスチック製のホルダーを使います。



持ちやすい箸

ピンセットのように、握ればはさめます。



いろいろなお箸を加工することができます。



点眼器

腕が上げられなくても点眼できます

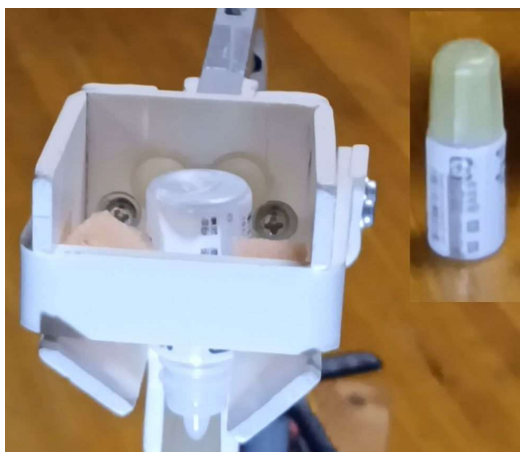


1. 頬骨に台座を乗せて、点眼容器のノズルに注目します。



2. ノズル先端に注目しながら、レバーをゆっくり倒すと、ノズルから薬液がしたたり落ちます。

3. ホームベース型の容器ホルダーにはいろいろな形状の容器を取り付けることができます。



動画で紹介 ⇒

<https://www.youtube.com/watch?v=6lviqkSSTmo>



錠剤取出し器・皿付き

ブリスターパックされた錠剤を抜き出す器具です



1. 頬骨に台座を乗せて、点眼容器のノズルに注目します。



2. パックされた錠剤を適当な穴の上において指で押さえて、錠剤を抜き出します。



3. 指の力が弱い場合は適当な押し棒を使用します。



4. 皿ごと持ち上げて、直接口に入れます。薬の数が多くても、一つ一つ摘み上げる必要はありません。

動画で紹介 ⇒

<https://youtu.be/OhnOB75i3xM>



万能カフ

マジックテープで手首や手のひらに巻きつけて使います。袋状になっている部分にスプーンや鉛筆等、いろいろなものを滑り込ませて取り付けます。手に持つことができなくてもいろいろな道具が使えます。



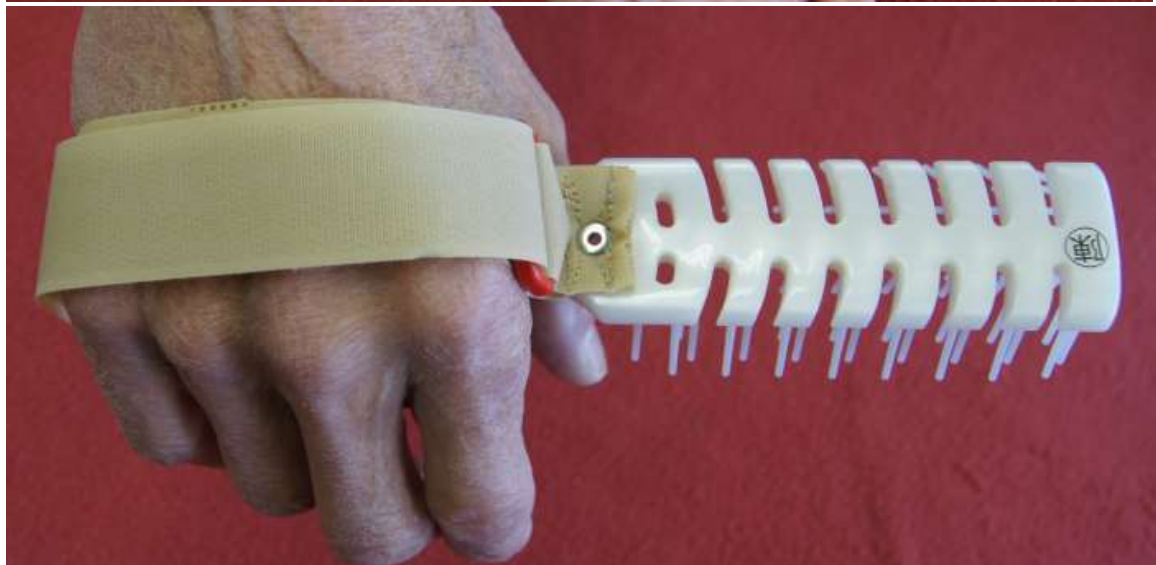
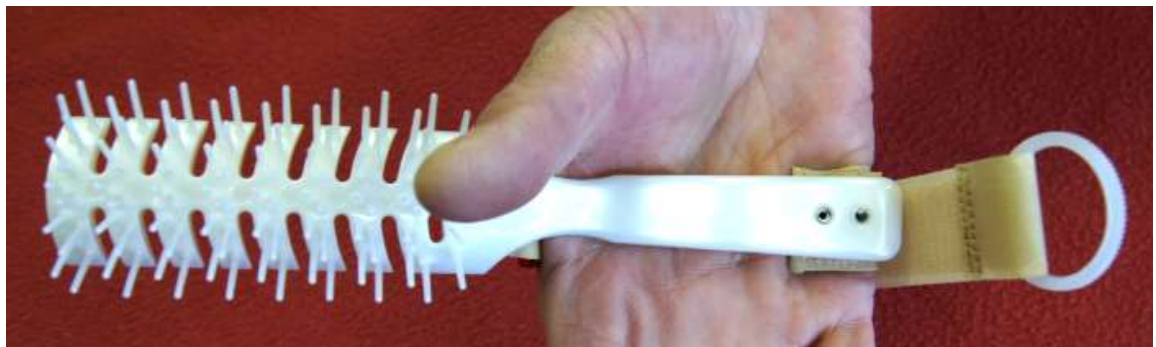
ファスナーエイド

指先でつまむ力が弱くても、ひっかければ動かせます。



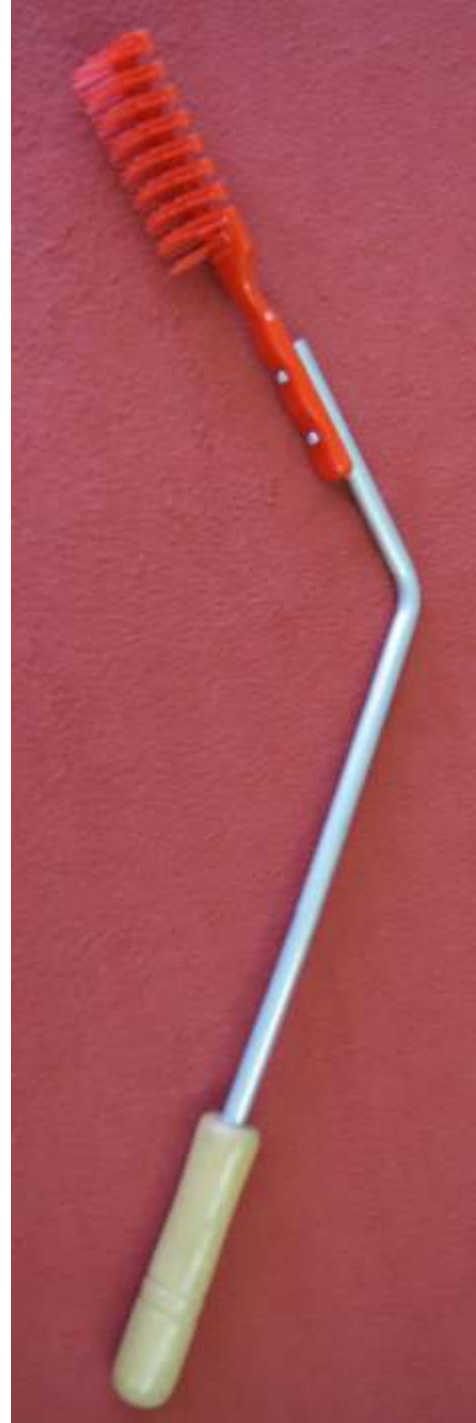
ベルト付きくし・ブラシ

握る事ができなくても手に持つことができます。



長柄ブラシ

肘が上がらなくても、頭まで届きます。
櫛を取り付けたタイプもあります。



長柄シャンプーブラシ

100均ショップで手に入る材料で作ります。肘を上げられなくても、シャンプーできます。耐水性でお風呂で使えます。



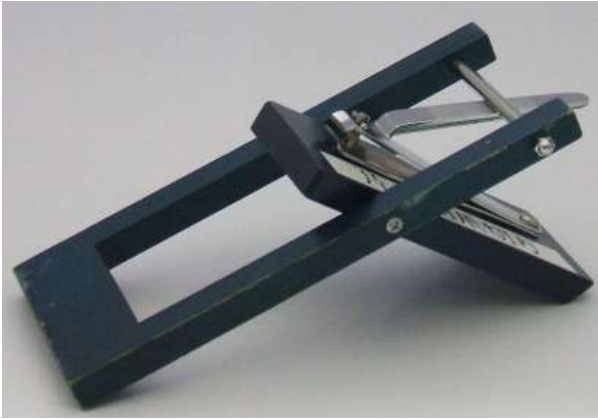
台付き爪切り

- ◎爪切りが台に固定されているので、レバーを押せば爪が切れます。
- ◎台の高さや角度を変えれば、変形している指にも対応できます。

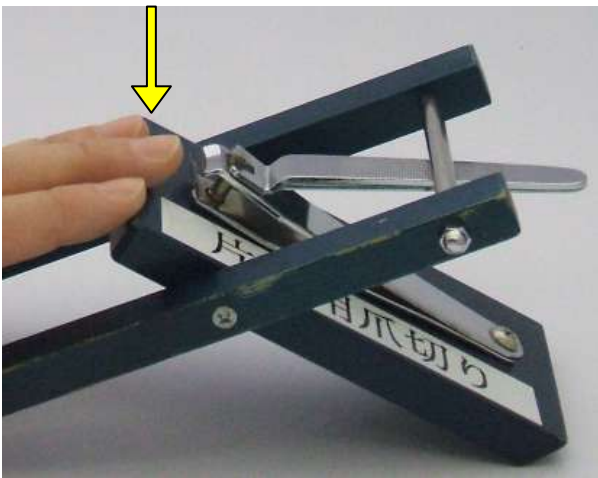


片手用爪切り(タイプ1)

片麻痺の方、握力が弱い方に



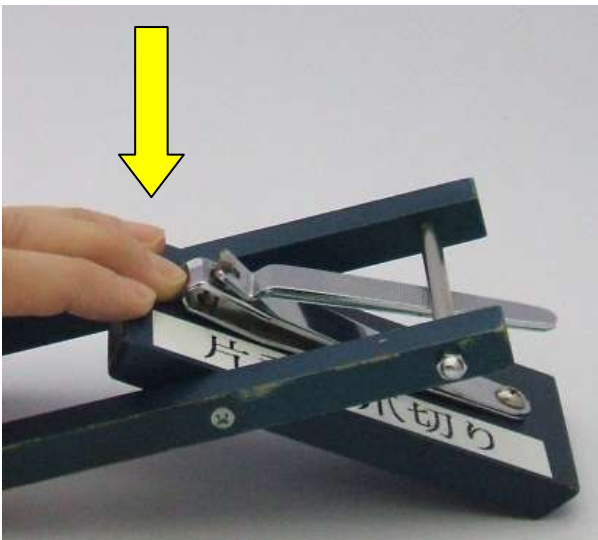
1. 図のようにひろげて、つめきりが自分の方をむくように置く。



2. 爪の先端をつめきりの刃の間にすべりこませ、

3. 指先で台座を軽く押し下げれば、刃が爪に押し付けられるので、

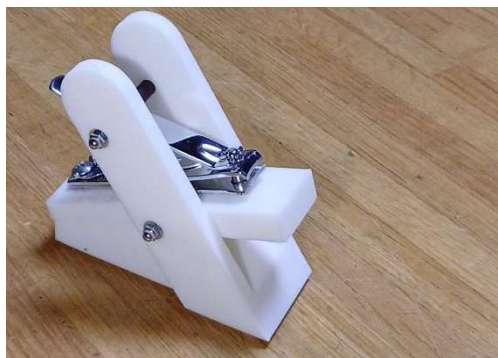
4. 「ふかづめ」にならないように切断する位置をちょうせつし、



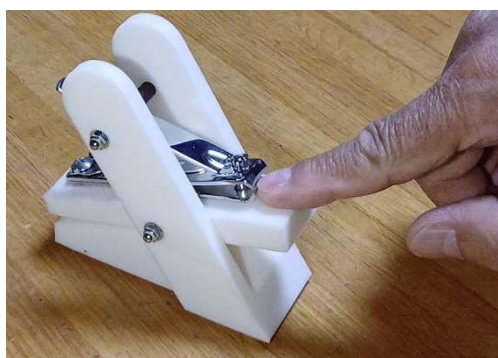
5. 台座を更に強く押し下げる。

片手用爪切り・ミニ型

片麻痺の方、握力が弱い方に



1. 爪切りを安定なテーブルの上で、操作しやすい位置に置き、



2. 爪の先端を爪切りの刃の間にすべりこませ、



3. 「ふかづめ」にならないように切断する位置を調節しながら、指先に力を入れ、ゆっくりとシーソーを押し下げます。

動画で紹介 ⇒



<https://www.youtube.com/watch?v=3mNZ5AihztE>

片手用爪切り・タイプII

シーソーのように動く爪切りです。

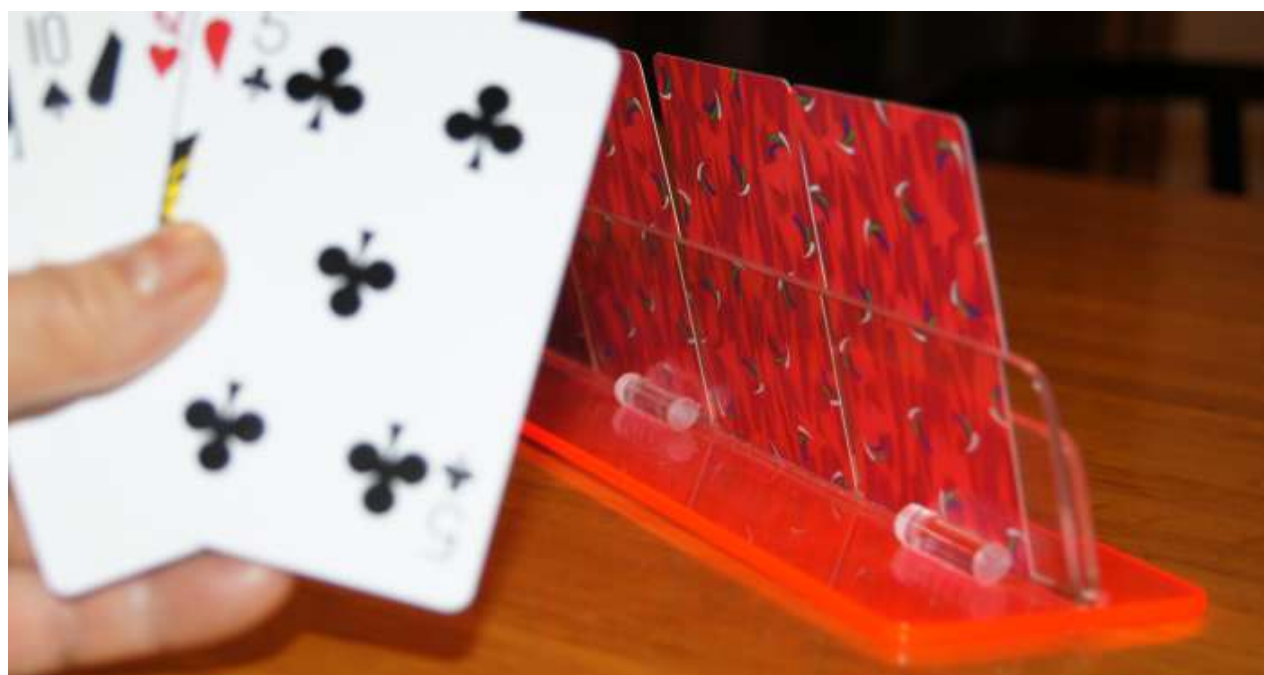


爪先を爪切りにセットして、レバーを押し下げれば、爪切り部分が持ち上がり、爪が切れます。



トランプ立て

片手でカードが持てなくても、ホルダーにはさんで、ゲームができます。



リコーダー

ゴムシートで穴を押さえるので、指の力が弱くても、正確に音が出せます。



読書台

押さえつけなくてもページが戻らず、片手で読書が楽しめます。



- ・折り畳み式です。
- ・アクリルのベロで開いたページを押さえます。
- ・ベロは本の大きさによって差し替えできます。

片手用刺繡枠

枠をテーブルに固定して、片手で刺繡ができます。



リリアン風編み器

編み器をテーブルの端に固定して、指先か鉤針でジグザグに編み進めます。



動画で紹介 ⇒
<https://youtu.be/FHquS5RjYg>



片手用棒針編み器



動画で紹介 ⇒

<https://youtu.be/cb4gkL3vvLI>



片手用鉤針編み器 (ニットトン付き)

右の写真は鉤針編みに必要な道具類です。

- ① 台座
- ② クランプ
- ③ ロールユニット
- ④ ニットトン(ゴムひも付き)

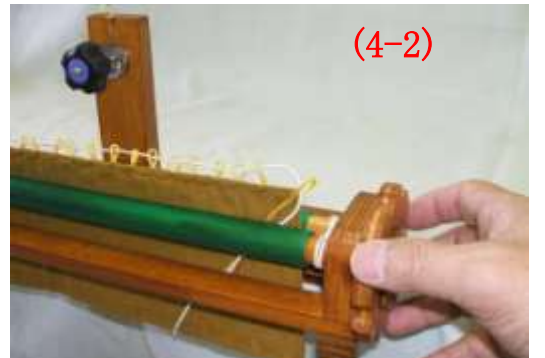
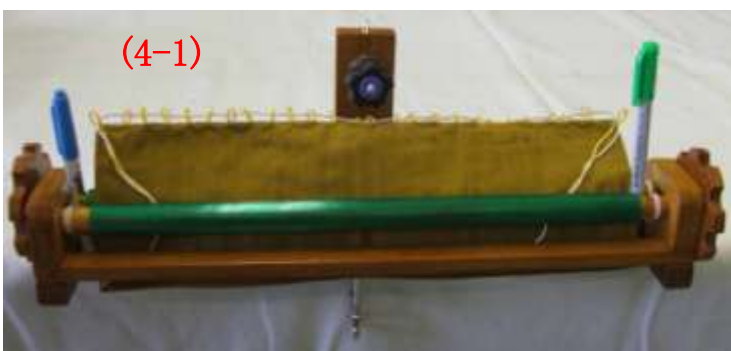
の4点と説明資料がセットになっています。

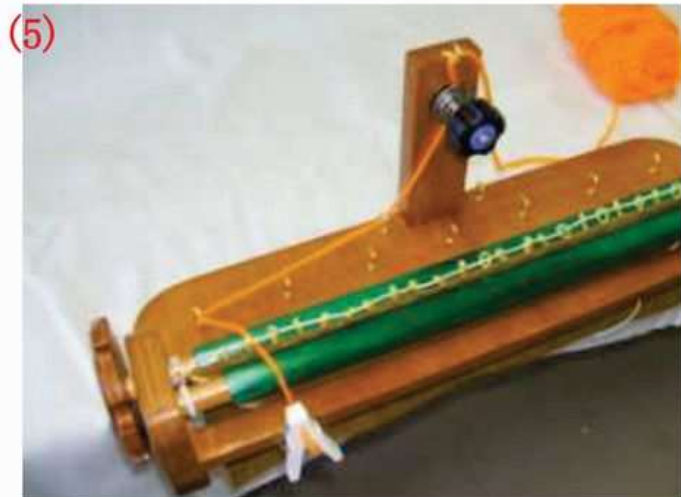
他に毛糸、鉛筆等、編み棒、洗濯バサミなどが必要です。



使い方

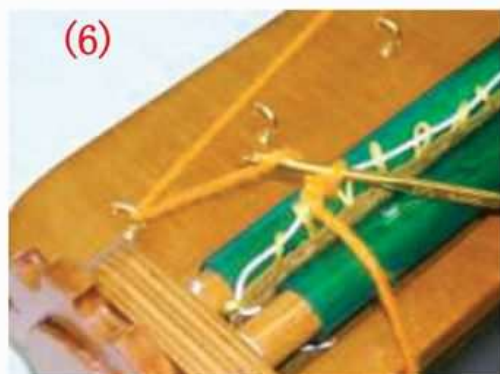
1. 先ず、台座をクランプでテーブルの端に固定します。
2. 次に、ロールユニットを取り付けます。
ロールユニット底面の穴と台座の突起を合わせます。
3. ロールユニットの両端に鉛筆等をさしこんで、ローラーに隙間を開けます。
4. ローラーの隙間にニットトンをはさんで、鉛筆を取り除き、ハンドルを回して、ニットトンの位置を調節します。



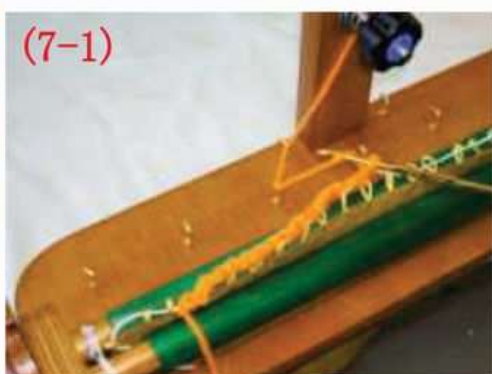


(5)

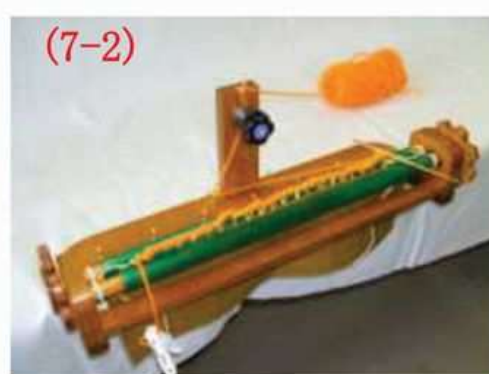
5. 糸道に毛糸を通し、ゴムひもをくぐらせて、末端に洗濯バサミをぶら下げます。
6. ニットトンの説明資料にしたがって、編み進めます。
7. 編み進めば、編みやすい位置にフックをかけなおします。
8. 端まで編み進めば、ロールユニットを持ち上げて、左右を入れ替えます。
9. 同じ方向に編み進めます。



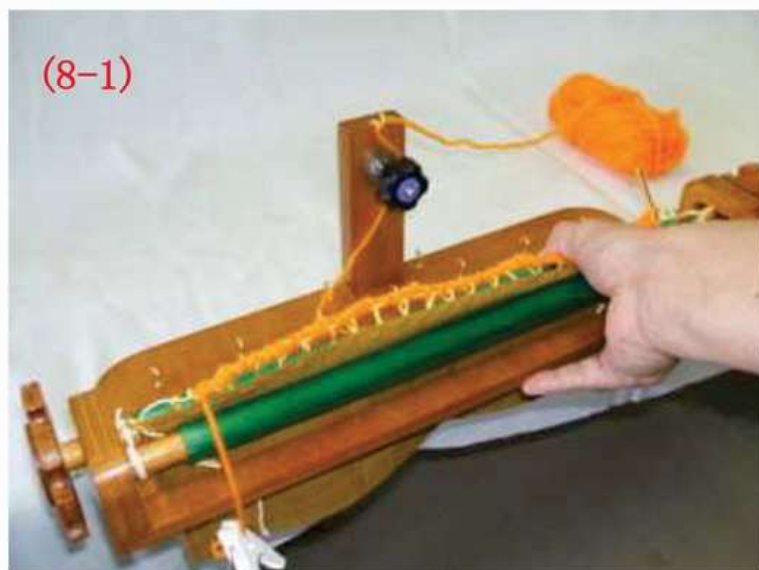
(6)



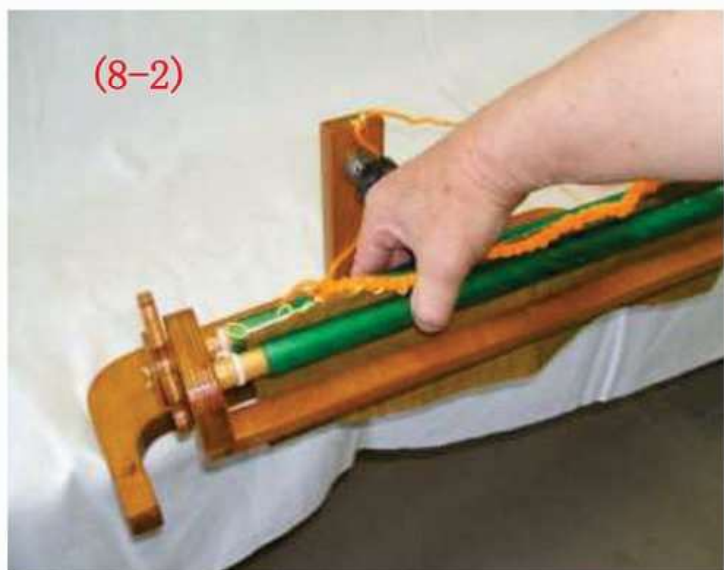
(7-1)



(7-2)



(8-1)



(8-2)



(9)

動画で紹介 ⇒

<https://youtu.be/S-w8L9edy94>



キーボードカバー

指が震えても、穴を通して間違えずにキーが押せます。

フルキーボード



ノート型



電卓やリモコン



鉛筆ホルダ

持ちやすいように工夫します。

